



下甌

思いを込めて

郷土芸能を披露

2月17日(木)、長浜小学校・かのご幼稚園の合同学習発表会が開催されました。5・6年生18人による郷土伝統芸能「波濤太鼓」では、力強い掛け声や太鼓の音が体育館中に響き渡りました。6年生の宮優斗くんは「伝統芸能の素晴らしさを教えていただいて、最高の思い出ができました」と満面の笑みを浮かべていました。



4年連続10回目の快挙
全国大会出場決定!!

育英ミニバスケットボールスポーツ少年団の児童らが、3月に埼玉県で開催される全国大会への出場を決め、知識博美副市長と上屋和夫教育長を表敬訪問しました。全国制覇目指して頑張ってくださいね。

■第42回全国ミニバスケットボール大会
期日：3月29日(火)～31日(木)
場所：さいたまスーパーアリーナ



森永靖子氏

厚生労働大臣表彰受賞

県食生活改善推進員連絡協議会長の森永靖子氏(御陵下町)が厚生労働大臣表彰を受賞しました。これは33年間にわたり食生活改善事業の発展・向上に尽力された功績に対し贈られたもの。2月16日(水)には、岩切秀雄市長を表敬訪問し、受賞の喜びと今後の抱負について語られました。



市内各地から

まちの話題

春を告げる
暖かい日差しを浴びて
カタバミの花が咲いています
(神田町)

平成23年2月22日撮影

最優秀賞(市長賞)作品



甌産マグロのタタキ風オープン焼き
にんにくマヨネーズソース
キビナゴとトマト添え

材料(4人分)

マグロ赤身	400g
キュウリ	1本
ミニトマト	12個
キビナゴ	12尾
マヨネーズ	200g
ニンニク	3片
パセリ	2枚
バージンオリーブオイル	100cc
ミックスチーズ	40g
パン粉	40g
バター	40g
酢	10cc
塩・コショウ	少々
マスタード	少々

甌島



「10お魚料理コンクール」で入選した10作品と平成21年度の入賞作品のレシピ、漁師直伝のキビナゴ料理のレシピを掲載した「10お魚料理コンクールレシピ集」が完成しました。

10お魚料理コンクールレシピ集

今回は、最優秀賞(市長賞)を受賞した「甌産マグロのタタキ風オープン焼き」にんにくマヨネーズソース、キビナゴとトマト添え」をご紹介します。

作り方

- ① マグロの赤身に塩・コショウし、熱したフライパンにオリーブオイルを敷き、さっと焼き色をつける。
- ② ①の赤身を横三等分に切り、キュウリのスライスを並べ重ね合わせる。
- ③ 赤身の上にマスタードを塗り、パン粉、パセリ、みじん切りにしたニンニクを乗せオープンで軽く焼く。
- ④ ボウルにみじん切りにしたニンニクとパセリ、マヨネーズを入れオリーブオイルでのばしていき、塩・コショウで味を調えソースとする。
- ⑤ キビナゴは塩・コショウし、四等分に切りオリーブオイルを敷いたフライパンで火を通す。くりぬいたミニトマトの中にソテーしたキビナゴを入れ、付け合わせとする。
- ⑥ ④のソースを皿に敷き③、⑤を盛り付ける。

審査員から一言

今回は刺身ではなく洋風にして、オープンでもフライパンでも調理でき、子どもから大人までおいしく食べられるようマヨネーズを使ってあります。ミニトマトの中にキビナゴを飾り、見事な出来栄です。本市のおもてなし料理としても使える一品です。レシピも素晴らしく、盛り付けも見事です。



子どもたちを守る

防犯パトロール隊始動

2月9日(水)、上甌老人福祉センターで、甌島地域において初めて結成された防犯パトロール隊の出発式が行われました。同隊は、上甌地区コミュニティ協議会が結成したもので、子どもたちを守り、犯罪のない安心安全なまちづくりを目指します。



クラスメイト一致団結!

練習の成果を発揮

2月9日(水)、サンアリーナせんだいで、市小学校綱引競技大会が行われました。当初は今年の6月に開催予定でしたが、口蹄疫の影響で同日に延期。当日は市内41小学校から47チーム・1,059人の児童が参加し、熱戦が繰り広げられました。各ブロックの優勝チームは次の通りです。【Aブロック】亀山小学校6年3組・【Bブロック】上手小学校



子どもからお年寄りまで

交流を深めました

2月13日(日)、市比野小学校で、市比野地区コミュニティ協議会主催の元氣祭りが開催されました。子どもからお年寄りまでの約150人の参加者らは、ウォーキングや消防ポンプ車の模擬放水、丸太切り競争など7つのプログラムを楽しみながら交流を深めました。



魅力ある

地域づくりのために

2月5日(土)、鹿児島純心女子大学で、まちのチカラ創造フォーラムが開催。同フォーラムには市民約650人が参加し、総務省地域政策課長の室田哲男氏やマーケティングコンサルタントの西川りゅうじん氏らによる講演やパネルディスカッションなどを通して、会場全体で魅力ある地域づくりについて考えました。

